

## 第 72 回年次大会 研究発表・ポスター・製品展示の募集

一般社団法人日本繊維機械学会は昭和 23 年に創立以来、「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り、かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました。

お蔭さまで、年次大会も第 72 回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に会して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います。また、35 歳以下の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのおみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

**期 日** 2019 年 5 月 30 日(木)、31 日(金)

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 北へ徒歩 3 分)

### 発表募集内容

[ ] 内はオーガナイザー

#### 1. 研究発表セッション

##### (a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

[金井博幸 (信州大学), 井上真理 (神戸大学), 鞠谷雄士 (東京工業大学), 近藤幹也 (東京都立産業技術研究センター), 朱春紅 (信州大学), 徳山孝子 (神戸松蔭女子学院大学), 堀場洋輔 (信州大学), 森下美樹子 (カケンテストセンター)]

キーワード: 繊維工学 (繊維製品に関わる技術, 性能試験), 繊維製品と感覚計測 (風合い, 快適性, 感性評価), ウェアの高機能化 (安全, 安心, 健康), 被服心理とファッション (からだ, デザイン, マーケティング)

##### (b) 繊維機械の科学と工学

[喜成年泰 (金沢大学), 稲垣録哉 (豊田自動織機), 太田成利 (村田機械), 橋本欣三 (TMT マシナリー), 伴場秀樹 (津田駒工業), 保田和則 (愛媛大学)]

キーワード: 繊維機械の基礎研究, 流れの科学, 繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術, 紡績技術, 化合織機械, 織機, 編機, 準備機械, 織編組技術, 各種繊維関連機器

##### (c) ナノファイバー

[山下義裕 (大阪成蹊短期大学), 石井佑弥 (京都工芸繊維大学), 金 翼 水 (信州大学), 中根幸治 (福井大学), 向井康人 (名古屋大学)]

キーワード: フィルター, ナノテクノロジー, エレクトロスピンニング, メルトブローン, 生体材料

##### (d) スマートテキスタイル

[堀 照夫 (福井大学), 黒田知宏 (京都大学), 桑原教彰 (京都工芸繊維大学), 才脇直樹 (奈良女子大学), 高橋秀也 (大阪市立大学)]

キーワード: 導伝繊維, スマート材料, 環境, 実装, 情報

##### (e) 環境対応技術

[豊田 宏 (太陽工業), 内丸もと子 (M.U.PLANNIG), 小田涼太 (三晶)]

キーワード: リデュース, リユース, リサイクル, 省エネ, エコロジー, LCA, 生分解性, 未利用資源, バイオマス, 環境負荷低減, 節電, 軽量

##### (f) 繊維強化複合材料

[中西康雅 (三重大学), 植松英之 (福井大学), 倉敷哲生 (大阪大学), 谷口憲彦 (アシックス), 仲井朝美 (岐阜大学)]

キーワード: FRP, 熱可塑性樹脂複合材料, ナノコンポジット, 有機・無機繊維, 強化形態, 複合効果, 傾斜機能, 成形加工, 接着・接合・界面

##### (g) 伝統的繊維製品および匠の技

[岡本陽子 (神戸女子大学), 高井由佳 (大阪産業大学)]

キーワード: 伝統産業, 天然繊維, 染織文化財, きもの, 組紐, 編物, 伝統技法, 織技法, 染技法, 衣文化, 民族衣装, 保存, 修理・修復, 復元, 文様, 色彩, デザイン, データベース, 文化財

## 2 お知らせ

### (h) 染色・機能加工

〔奥林里子（京都工芸繊維大学）、上坂貴宏（京都市産業技術研究所）、榎本雅穂（京都女子大学）、岡田倫子（滋賀県東北部工業技術センター）、桑原里実（和洋女子大学）、解野誠司（和歌山県工業技術センター）、松原孝典（産業技術短期大学）、安永秀計（京都工芸繊維大学）〕

キーワード：染料／顔料／色素、染色・加工処理剤、新規材料合成、染色・機能加工、デジタル染色、超臨界染色加工、エコ染色加工、ドライプロセス（電子線／紫外線／プラズマ）、堅ろう度向上、廃液処理、環境／持続社会、バイオベースマテリアル、食品・農芸分野、ヒューマンオリエンテッド

### (i) バーチャルテキスタイル

〔横山敦士（京都工芸繊維大学）、若松栄史（大阪大学）〕

キーワード：繊維製品、バーチャル技術、数値解析、CAE、CAD

### (j) 産業用繊維資材および不織布

〔田上秀一（福井大学）、笹山秀樹（福井県工業技術センター）、矢井田修（日本不織布協会）〕

キーワード：産業用繊維資材（テクニカルテキスタイル）、医療・衛生用、工業用、土木・建築用、自動車用、生活資材用、インテリア用、寝装用、皮革用、二次電池用などの不織布

## 2. 製品紹介セッション

〔藤田浩行（兵庫県立工業技術センター）、勝圓 進（倉敷紡績）、河原喜久（帝人フロンティア）、亀井孝典（鳥精機製作所）、香出健司（ユニチカ）、武内俊次（京都工芸繊維大学）、二ノ宮有希（東レ）〕 繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。その内容にPR色があっても差し支えありません。この点が、このセッションの大きな特徴です。広い範囲から製品、技術の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方に、同じ発表内容を応募することができます（ダブルエントリーでも料金は発表1件分です）。このセッションは1日目【2019年5月30日（木）】に開催します。

## 3. ポスターセッション

〔山本貴則（大阪産業技術研究所）、勝圓 進（倉敷紡績）、廣垣和正（福井大学）〕

ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。このセッションには、（1）学術研究発表コーナー、（2）製品紹介コーナー（製品展示・実演も可能）があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。このセッションは1日目【2019年5月30日（木）】に開催します。

### 学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション、ポスターセッションは該当しません）、2019年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って、優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により、提出された原稿に基づく第一審査、第一審査を通過された場合、当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし、ポスターセッション（審査対象外）へのダブルエントリーは可能です。

### ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません）、2019年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って、優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日【5月30日（木）昼休み】に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表は可能です。ただし、同じ講演題目による学術奨励賞への応募はできません。

### 発表申込方法

以下サイトよりWEB申込みをしてください。

URL：[https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry\\_annual.php](https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry_annual.php)

### 発表申込・要旨原稿提出締切

発表申込締切：2019年2月15日（金）17時必着

原稿提出締切：2019年4月8日（月）17時必着

**その他**

- (1) 講演時間について (予定)  
 一般講演：講演時間 20 分 (講演 15 分, 質疑応答 4 分, 次の演者との交代 1 分)  
 セッション基調講演：講演時間 40 分 (講演 35 分, 質疑 4 分, 次の演者との交代 1 分)
- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み (ダブルエントリー) の場合は, 重複申し込みしている旨をご記載下さい.
- (3) 要旨集の配布は, 紙媒体 (冊子) とダウンロード方式 (期間限定) による配布を行います.
- (4) 講演要旨集の発行日は, 2019 年 5 月 23 日 (木).
- (5) 原稿は, 学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き, 書式にしたがって A4 判 1 頁または 2 頁にまとめて下さい. 書式から大きくはずれた原稿は受付できません.
- (6) 学術奨励賞にエントリーされた発表は A4 判 2 頁で作成して下さい.
- (7) ポスターボードの大きさ  
 ①学術研究発表コーナー：たて 1170 mm, よこ 870 mm.  
 ②製品紹介コーナー：たて 841 mm, よこ 594 mm.
- (8) 参加登録費：会員・発表者 8,000 円, 非会員 13,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円  
 (事前登録日以降の登録 (当日を含む) は各々 2,000 円追加)
- (9) 発表者は自動的に参加登録されます. あらかじめご了承下さい.

**問合せ先**

日本繊維機械学会 第 72 回年次大会実行委員会  
 〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

**第72回年次大会 実行委員会**

委員 長	木村 裕和(信州大学)		
副委員 長	田上 秀一(福井大学)	松岡 敏生(三重県工業研究所)	
	山本 貴則(大阪産業技術研究所)		
実行委員	石井 佑弥(京都工芸繊維大学)	稲垣 録哉(豊田自動織機)	
	井上 真理(神戸大学)	上坂 貴宏(京都市産業技術研究所)	
	植松 英之(福井大学)	内丸もと子(M.U.PLANNIG)	
	榎本 雅穂(京都女子大学)	太田 成利(村田機械)	
	岡田 倫子(滋賀県東北部工業技術センター)	岡本 陽子(神戸女子大学)	
	奥林 里子(京都工芸繊維大学)	小田 涼太(三晶)	
	勝圓 進(倉敷紡績)	金井 博幸(信州大学)	
	金 翼 水(信州大学)	亀井 孝典(島精機製作所)	
	河原 喜久(帝人フロンティア)	鞠谷 雄士(東京工業大学)	
	喜成 年泰(金沢大学)	倉敷 哲生(大阪大学)	
	黒田 知宏(京都大学)	桑原 里実(和洋女子大学)	
	桑原 教彰(京都工芸繊維大学)	香出 健司(ユニチカ)	
	近藤 幹也(東京都立産業技術研究センター)	才脇 直樹(奈良女子大学)	
	笹山 秀樹(福井県工業技術センター)	朱 春 紅(信州大学)	
	高井 由佳(大阪産業大学)	高橋 秀也(大阪市立大学)	
	武内 俊次(京都工芸繊維大学)	谷口 憲彦(アシックス)	
	解野 誠司(和歌山県工業技術センター)	徳山 孝子(神戸松蔭女子学院大学)	
	豊田 宏(太陽工業)	中西 康雅(三重大学)	
	中根 幸治(福井大学)	二ノ宮有希(東レ)	
	橋本 欣三(TMTマシナリー)	伴場 秀樹(津田駒工業)	
	廣垣 和正(福井大学)	藤田 浩行(兵庫県立工業技術センター)	
	堀 照夫(福井大学)	堀場 洋輔(信州大学)	
	松原 孝典(産業技術短期大学)	向井 康人(名古屋大学)	
	森下美樹子(カケンテストセンター)	矢井田 修(日本不織布協会)	
	保田 和則(愛媛大学)	安永 秀計(京都工芸繊維大学)	
	山下 義裕(大阪成蹊短期大学)	與倉 弘子(滋賀大学)	
	横山 敦士(京都工芸繊維大学)	若松 栄史(大阪大学)	

## 繊維リサイクル技術研究会第131回情報交換会 ～知っておきたいマイクロプラスチック問題～

**期 日** 2018年12月19日(水) 14.00～17.10

**会 場** 京都工芸繊維大学3号館2階第2会議室(京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

**内 容**

14.00～14.10 開会挨拶

..... 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫

14.10～15.10 話題提供「ヨーロッパの繊維リサイクル機器調査報告」

..... 日本特殊塗料株式会社 渡邊裕司

15.30～17.00 特別講演「マイクロプラスチックの基礎と最新の研究事例」

..... 京都大学大学院 地球環境学堂 田中周平

17.00～17.10 報告事項と閉会挨拶

..... 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫

17.30～19.00 名刺交換会(交流会, 有料)

**共 催** (予定) 京都工芸繊維大学・繊維科学センター

**問い合わせ先** 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫  
tkimura426@gmail.com

## お知らせ 日本繊維機械学会 Facebook ページの開設

SNS「フェイスブック」に、日本繊維機械学会のFacebookページを2018年7月に開設しました。

最新情報や開催行事報告等をお伝えします。

すでにフェイスブックをお使いの方は、ぜひ「いいね!」をお願いします。

### 企画委員会

<b>委員長</b>	倉敷 哲生 (大阪大学)		
<b>副委員長</b>	杉山 研志 (TMT マシナリー)	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)	
<b>企画委員</b>	青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)	秋月 健司 (東レ)	稲富伸一郎 (東洋紡)
	内丸もと子 (M.U.PLANNIG)	小川 敦久 (クラレ)	奥野 智朗 (住江織物)
	梶原 幸治 (キョーワ)	勝間田晋治 (ポーケン品質評価機構)	黄 楚 (カトーテック)
	佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)	佐藤 克成 (奈良女子大学)	滋野 治雄 (帝人)
	竹本由美子 (武庫川女子大学)	筒井久美子 (村田機械)	中根 幸治 (福井大学)
	西田 裕紀 (関西ファッション連合)	野田 博丈 (トヨタ紡織)	馬場武一郎 (日本毛織)
	林 久秋 (豊田自動織機)	廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)	深沢太香子 (京都教育大学)
	藤井 智成 (津田駒工業)	堀場 洋輔 (信州大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)
	森 洋人 (アシックス)	森島 英暢 (倉敷紡績)	山田 博夫 (ユニチカトレーディング)
	山田由佳子 (大阪教育大学)		
<b>アドバイザー</b>	宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))	木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)
	藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)	松崎 健 (ミズノ)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)



# 講演会「スポーツ用補助具の現状と未来」

スポーツと用具は互いに不可欠な関係にあります。この用具を使う側と作る側が相互に連携し、スポーツは時を経るごとに進化し、洗練され、見る側をも魅了してきました。そして今や進化した用具は従来のスポーツの枠を越え、パラリンピックやさらには超人スポーツといった新領域のスポーツを生んでいます。これら新領域のスポーツは競技者の身体能力の障壁を下げ、誰もが同じフィールドでスポーツを楽しめる点が特徴です。そのため従来のスポーツよりも将来は裾野の広い市場となり、繊維業界がファッションや素材の面で新規ビジネスを展開できるものと期待します。本セミナーではこれらのスポーツ分野の第一人者に現在の取り組みとその将来についてご講演をいただきます。この分野にご興味をお持ちの方、イノベーションを模索されている方は、是非ご参加くださいますようお願いしております。

**期 日** 2019年1月10日(木) 10.00~15.55

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容** 予定

10.00~11.00

(1) 「障がい者スポーツの歴史と工学による貢献」

..... 川村義肢(株) 技術推進部 K-Tech 主席技師 松田 靖史  
 東京オリパラを前に障がい者スポーツが注目されています。義足のジャンパーは健常者に迫る距離を跳び、車いすマラソンは健常者より早く2時間を切っています。これは障がい者が進化したのではなく、福祉機器(義肢装具や車いす)が競技機材に進化した結果であり、工学の貢献ゆえです。障がい者スポーツの昔から今を解説します。

11.10~12.10

(2) 「アスリート向け競技用義足の開発」

..... (株)今仙技術研究所 技術部 技術2課 義肢装具士 浜田 篤至  
 用具を使用するパラスポーツにおいて、競技用義足の代表格「板バネ」とはどういったものかを解説します。また、競技用義足を使う上で重要な「スポーツ用義足のアライメント」とは何か、またその研究から生まれる次世代の板バネについて紹介します。

13.10~14.40

(3) 基調講演「超人スポーツを創る」

..... 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 稲見 昌彦  
 近代スポーツは産業革命後に一般に普及した。情報革命を迎えていると言われてる現在、スポーツはどのように変わるのだろうか?本講演では、人間拡張工学による人機一体の新たなスポーツ「超人スポーツ」に関し紹介するとともに、スポーツ創造と身体の未来に関し具体例を示しつつ論じる。

14.55~15.55

(4) 「補助具によるスポーツ体験の拡張」

..... 広島大学 大学院工学研究科 生体システム論研究室 教授 栗田 雄一  
 本講演では、これまでリハビリや作業支援など限られた用途に使われていた運動アシスト機器を、トレーニング効果を向上させたりスポーツシーンを盛り上げたりするウェアラブル機器と捉え直し、人工筋を利用した運動支援スーツによるスポーツ体験の拡張に応用した研究成果と今後の展望について紹介します。

**協 賛** 大阪染色協会

**定 員** 40名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**参加費** 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 25,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 2,000円 (税別)

**申 込** 「講演会スポーツ用補助具の現状と未来」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

## 講演会「ITMA ASIA+CITME 2018(上海)視察報告」

中国最大の繊維機械展とされる「中国国際繊維機械展示会」(CITME)と「国際繊維機械見本市アジア展示会」(ITMA ASIA)が2018年10月15日～19日の日程で上海にて開催されました。

アジア地区の最新動向を知ることは、これからのアジア地区の戦略を練る意味でも重要です。本講演会ではITMA ASIA & CITME 2018(上海)に参加された方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説頂きます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会と存じます。多数の方々のご参加をお待ちします。

**期 日** 2019年1月25日(金) 9.55～17.25

**会 場** 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容** 予定

開会の挨拶(9.55～10.00)

- ..... 日本繊維機械学会 繊維機械研究会委員長, 金沢大学教授 喜成年泰
- (1) 全般(10.00～10.40)
  - ..... 日本繊維機械学会 繊維機械研究会委員長, 金沢大学教授 喜成年泰
- (2) 合織機械(10.40～11.20)
  - 紡糸巻取関係 ..... TMT マシナリー(株)
  - 加工機関係 ..... TMT マシナリー(株)
- (3) 紡績機械(11.30～12.10)
  - ..... (株)豊田自動織機
- (4) 革新精紡機(12.10～12.30)
  - ..... 村田機械(株)
- (5) 自動ワインダー(12.30～12.50)
  - ..... 村田機械(株)
- (6) 織機(13.50～14.30)
  - ..... 津田駒工業(株)
- (7) 編機(14.30～15.10)
  - ..... (株)島精機製作所
- (8) 染色加工機械(15.20～16.00)
  - ..... (株)日阪製作所
- (9) インクジェット捺染機(16.00～16.40)
  - ..... コニカミノルタ(株)
- (10) ディスカッション(16.40～17.20)
  - ..... 講演を頂きました講師

閉会の挨拶(17.20～17.25)

- (11) 交流会(17.30～19.00)

**共 催** 繊維機械研究会

**定 員** 80名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員15,000円, 協賛学協会会員15,000円, 非会員25,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員3,000円(税別), 繊維機械研究会メンバー無料, 交流会別途5,000円程度

**申 込** 「講演会ITMA ASIA + CITME 2018(上海)視察報告」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 共催行事 2019 学術ミキサー(繊維系3学会共催)

新年を迎えるにあたり「2019 学術ミキサー」を東京・九段下の和洋九段女子高校にて開催いたします。

繊維関連の3学会共催による開催も5年目となりました。

平素よりご支援、ご指導を頂いております会員、大学、研究機関、企業ならびに関連団体の方々との間で情報交換をしていただき、繊維関連の学術、産業について今後を展望したいと存じます。

今回の学術ミキサーは、「シルクの素晴らしい構造と応用展開」と題して東京農工大学の朝倉哲郎先生よりご講演いただき、つづいて「セルロースナノファイバーの研究—界面構造が支配する分散・集積・複合体の科学」と題して東京大学の齋藤継之先生にご講演をいただきます。

ご講演終了後は、3学会役員の新年挨拶と講師の方々を交えた交流会を予定しています。

各学会の会員様はじめ大学・企業・団体会員の方々におかれましては、3学会の会員同士の連携や情報交換の貴重な機会となりますよう多数の方々のご参加をお待ちしております。

**共催** (一社) 繊維学会, (一社) 日本繊維機械学会, (一社) 日本繊維製品消費科学会

**期日** 2019年1月11日(金) 13.25~17.00 (九段スカイビルの1階にて受付 12.30~)

**会場** 和洋学園 九段スカイビル (東京都千代田区九段北 1-12-12)

和洋九段女子高校に隣接したブルー色のビルの2階

都営新宿線、東京メトロ半蔵門線または東西線の九段下駅下車、出口1より徒歩5分。

### 内容

13.25~13.30 開催挨拶

13.30~14.20

講演1「シルクの素晴らしい構造と応用展開」

..... 東京農工大学 朝倉哲郎

カイコならびにクモの絹の素晴らしい構造と繊維化の機構について最新の構造研究の成果を話すとともに、その特徴を生かした再生医療材料の開発等の応用展開について

14.30~15.20

講演2「セルロースナノファイバー研究：界面構造が支配する分散・集積・複合体の科学」

..... 東京大学 齋藤継之

セルロースナノファイバーとは、木繊維より精製した細胞壁セルロースの湿式粉碎物であり、一般的に水分散体の状態で流通している。そのため、分散体を出発としたフィルムや多孔質への成形プロセスや、プラスチックとの複合化においては、分散体の取り扱いが重要であり、これらの系を支配するのは界面科学である。本講演では、界面構造が如何に分散・集積・複合化に作用するのか、当研究室の事例をもとに解説する。

15.30~17.00 交流会 (3学会役員新年挨拶, 名刺交換会・軽食)

**参加費** 3,000円

**定員** 70名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**申込** 参加ご希望の方は、学会ホームページの申込フォームよりお申込みください。または、繊維学会事務局までメールにてお申込みください。

**問合先** (一社) 繊維学会

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

TEL: 03-3441-5627, FAX: 03-3441-3260, E-mail: Office@fiber.or.jp

## 「テキスタイルカレッジ」のご案内

### ■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を昨年に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

### ■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」「布」「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

### 「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	開催済	1. 「2日で学ぶせんいと布づくり」(2日)	
専 門 講 座	糸	開催済	1. 「天然繊維の糸づくり」(1日)
		開催済	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		開催済	3. 「合成繊維(実用)」(1日)
	布	開催済	1. 「組物」(0.5日)
		開催済	2. 「織物」(1日)
		開催済	3. 「編物」(1日)
		開催済	4. 「不織布」(1日)
		開催済	5. 「染色加工」(1日)
		開催済	6. 「染色加工(実用)」(2日)
	製 品	2/1(金)	1. 「アパレル製品設計の基本」(1日)
		開催済	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)
		開催済	3. 「実習:感性評価のための布特性」(1日)
		1/16(水)	4. 「資材用繊維製品」(1日)
		3/1(金)	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)



テキスタイルカレッジ

「資材用繊維」

近年、化学繊維は自動車や建築・土木用途などの“産業資材”，そしてカーペットやオムツなどの“衛生・生活資材”といった「資材用繊維」としての利用割合が増大しています。その一方、それぞれの分野で新しい施工法や利用法が開発されるとともに、その用途に応じて要求される機能や性能も異なるため、資材用繊維素材の開発は高度化しています。また、資材用繊維製品の多様化、利用量の増大に伴い、使用後の回収や処理が課題とされるようになってきました。

そこで本講座では、産業資材用繊維に注目し、その種類や機能、性質、そして製法などの基礎について講義します。また、「自動車」「土木・建築」「水産」という産業資材の中核をなす分野については、それぞれの用途で求められる機能や性能について実例をもとに説明します。さらに、使用済み繊維の回収の仕組みやその処理技術についても講義します。多数の方々のご参加をお待ちしております。

**期 日** 2019年1月16日(水) 10.00~16.30

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容** 予定

10.00~11.00

(1) 資材用繊維概論 (分類/機能/性質/繊維形態・構造体/製法など)  
 ..... 福井大学 学術研究院 工学系部門 教授 田上 秀一

11.10~12.10

(2) 資材用繊維の用途と機能  
 2-1 自動車分野  
 ..... トヨタ紡織(株) 繊維開発部 山田 昌平

13.10~14.10

2-2 土木・建築分野  
 ..... キョーワ(株) 開発・技術部 本部長 梶原 幸治

14.20~15.20

2-3 水産分野  
 ..... ユニチカ(株) 産業繊維事業部 迫部 唯行

15.30~16.30

(3) 資材用繊維と環境 (使用済み繊維の回収・廃棄等の現状, そしてリサイクルなどの技術について)  
 ..... 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

**協 賛** 大阪染色協会, 関西ファッション連合

**定 員** 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**参加費** 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ資材用繊維」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

**申込先** 日本繊維機械学会  
 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

## テキスタイルカレッジ

## 「アパレル製品設計の基本」

最終製品としてのアパレルの製造とその性能、性能試験法、企画設計に関わる流行について学びます。

アパレルは、人のサイズや体型に合わせて作られ、着用時に必要な性能、耐久性を備えて製品として販売されます。その時代の流行にあわせて企画デザインすることも必要です。さらに現代の生活の中では、地球環境規模、有限の資源を前提として、生活する人間の健康を踏まえ、より豊かな、安全な、美しい外観の、快適な着心地が得られるアパレルを設計することが望まれています。

消費者には、その人にとって魅力的な着想を考え、適正な取り扱いをして長く着ていくとともにリサイクルと廃棄について最適なアパレルを選択することが望まれます。時代とともにアパレルに対する消費者の意識も変化していく中、アパレル製品を企画設計するうえで必要な知識を身につけると共に、これからの時代に求められる製品設計のための一助になると考えます。

基礎から解説いたしますので、材料展開をはかる営業の方、販売の方々もご聴講ください。

**期 日** 2019年2月1日(金) 10.00~17.00

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容** 予定

10.00~10.30

(1) 概論

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上 真理  
1970年代、80年代のアパレル用布地と現在用いられている布地とを比較してみると随分様変わりしました。海外から価格の安い製品が多く入ってくる中、日本国内の生産現場の事情も大きく変化しています。そのような背景の下で、本テキスタイルカレッジの流れを概説します。

10.30~11.10

(2) 人体と衣料サイズ

..... 元(株)ダーバン, 相馬技術士事務所 相馬 成男  
アパレル企業が、身体にフィットした衣服を企画・設計して製造するためには、ターゲットとする人体の寸法と形のデータが必要です。また、消費者は衣服購入時にサイズを必ず確認します。ここでは、人体計測法とJIS衣料サイズシステムの基礎および現在検討が進められています衣料サイズ国際標準化の動きについて講義をします。

11.20~12.00

(3) パターンメイキング・グレーディングの基礎

..... 元(株)ダーバン, 相馬技術士事務所 相馬 成男  
デザイン画をもとに、アパレルの製品化させるために、パターンメイキングすなわち型紙の作成がなされます。原型の作成からデザインパターンへの展開、プロダクトパターンの作成について説明します。また、基準サイズからの他のサイズへの展開であるグレーディングについても説明します。

13.00~14.20

(4) アパレル製造工程

..... (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之  
デフレ経済という時代の流れと共に、日本のアパレル業界は、生産の多くを海外シフトし、いつの間にか日本国内で生産現場に接する機会は激減してしまいました。現場を知る事は、商品としての付加価値を理解する為にも非常に大切な事です。あらためてアパレル製品の企画立案から物づくりの一連の流れを、時間軸をベースに説明します。

14.30~15.10

(5) 布の実用性能

..... (一財)カケンテストセンター 大阪事業所 繊維ラボ グループリーダー 森 秀樹  
アパレル製品を作成する時の基本として、生地選びの際の基本性能確認とも言える、染色堅ろう度試験や物性試験及び安全性確認としてのホルムアルデヒド試験、生地素材の混用率試験の簡単な説明と、代表的な機能性試験を説明します。

15.20~16.00

(6) 商品表示と品質保証（衣料品の事故事例）

..... (一財) ボーケン品質評価機構  
 商品に付記する表示は、その商品情報を消費者に正確に伝えるために重要なもので、商品の顔と言っても過言ではありません。商品表示の種類と役割について簡単に説明します。また、より良いものづくりの参考に、実際に発生した衣料品の事故事例を紹介し、その原因について説明します。

16.00~17.00

(7) 流行の周期「人の感性がつくる流行の周期」

..... (株)感性リサーチ 研究員 手塚 祐基  
 大好きだった去年の服が、今はもう着たくない。そんな気持ちになったことはないだろうか？実は、「良いもの」が永久に良いわけではない。好き嫌いの判断も変化してしまうのだ。ある周期で変化する人の感性について知ろう。◇流行はなぜ起こる？商品やブランドの寿命は？◇感性の変化を新商品開発や営業に活かすには？

**協賛** 大阪染色協会、関西ファッション連合

**参加費** 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

**定員** 30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**申込** 「テキスタイルカレッジアパレル製品設計の基本」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

ジャーナル編集委員会	
<b>委員長</b>	保田 和則（愛媛大学）
<b>副委員長</b>	金井 博幸（信州大学）
	向井 康人（名古屋大学）
<b>編集委員</b>	井上 真理（神戸大学）
	植松 英之（福井大学）
	坂口 明男（信州大学）
	松岡 敏生（三重県工業研究所）
	山下 義裕（大阪成蹊短期大学）
	山本 剛宏（大阪電気通信大学）
	横山 敦士（京都工芸繊維大学）
	小柴 孝（奈良工業高等専門学校）
	上田 博之（大阪信愛女学院短期大学）
	金田 直人（福井工業高等専門学校）
	廣垣 和正（福井大学）
	安永 秀計（京都工芸繊維大学）
	山本 貴則（大阪産業技術研究所）
	與倉 弘子（滋賀大学）

## テキスタイルカレッジ

## 「繊維製品の品質管理と品質保証」

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について元繊維評価技術協議会の越智様から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、元 TMT マシナリー(株)の中田様、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

**期 日** 2019年3月1日(金) 9.30～17.50

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容**

9.30～10.30

(1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明

……………(一財)ニッセンケン品質評価センター 大阪事業所 本町支所 支所長 中根 勲

10.40～11.40

(2) 機能性試験の内容と評価基準

……………元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一

11.50～12.50

(3) 製品クレームの事象と対策例

……………(一財)ボーケン品質評価機構

13.40～14.40

(4) 紡糸工程における品質欠点と最終製品への影響 溶融紡糸(長繊維生)製品の品質欠点について

……………元帝人, 元 TMT マシナリー, 中田西日本技術士事務所 代表 中田 賢一

14.50～15.50

(5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響

……………村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守

16.00～16.50

(6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場 秀樹

17.00～17.50

(7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 田中 利幸

**協 賛** 大阪染色協会, 関西ファッション連合

**参加費** 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**定 員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

# 第 47 回繊維工学研究討論会 The 47<sup>th</sup> Textile Research Symposium 2019



第 47 回繊維工学研究討論会 (TRS2019) は、チェコ共和国リベツ市のリベツ工科大学で、2019 年 6 月 17 日 (月) ~ 19 日 (水) に開催されます。

繊維工学研究討論会 (国際シンポジウム) は、国内外の繊維工学研究者や技術者間の、繊維工学研究討論や情報交流をはかるために 1972 年に始まり、Mt.Fuji Conference の愛称で親しまれ 47 回目を迎えます。今日では、ファイバーサイエンスからアパレルエンジニアリングまで幅広い分野の繊維研究に関する国際会議になっています。参加者は著名な繊維研究者です。世界各地から 60 ~ 100 名が集い、30 ~ 40 の論文 (口頭とポスター) が討論されます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

**期 日** 2019 年 6 月 17 日 (水) ~ 19 日 (水)

**会 場** チェコ共和国リベツ工科大学 (Technical University of Liberec)  
Univerzitni namesti 1410/1, Liberec 1 - Stare mesto

**主 催** リベツ工科大学繊維機械学科ならびに一般社団法人日本繊維機械学会

## トピックス

- Fiber Science and Engineering
- Science and Technology of Textile Machinery
- Science and Technology of Textile Processing
- Dyeing and Finishing
- Nano Fibers and Smart Textiles
- Composite and Industrial Textiles
- Design, Comfort, Quality of Textiles and Sense Evaluation
- Apparel Science and Production Technology
- Environment and Sustainability
- Biomedicals

## 発表・参加申込

下記ホームページから直接お申込みください (日本繊維機械学会では受け付けません)。

<http://trs2019.ft.tul.cz/Home/home.html>

発表申込締切: 2018 年 12 月 31 日 (タイトル, 発表カテゴリー, 発表者など)

発表受諾の通知: 2019 年 1 月 20 日

アブストラクト (2 ページ) 提出締切: 2019 年 4 月 10 日

フルペーパー提出締切 (任意): 2019 年 6 月 30 日

**参加登録費** Regular participant : 200 € (Before 30<sup>th</sup> April 2019), 250 € (After 30<sup>th</sup> April 2019)

Student : 100 € (Before 30<sup>th</sup> April 2019), 150 € (After 30<sup>th</sup> April 2019)

Accompanying person : 50 € (Before 30<sup>th</sup> April 2019), 100 € (After 30<sup>th</sup> April 2019)

**その他** 日本繊維機械学会では、TRS2019 (チェコ・リベツ) とそれに引き続く ITMA2019 (スペイン・バルセロナ) のツアーを計画しています。



## 第47回繊維工学研究討論会ツアー(1)チェコ

**旅行代金** 299,910 円 (税込)

※現旅行代金に含まれていないもの：シンポジウム参加登録費、地市税等、日程表に含まれない食事代金等。

※利用航空会社：エミレーツ航空利用（エコノミークラス）予定

※諸般の事情で旅行代金に変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

**申込締切** 2018年12月20日(木)

**内容** 予定

日程	曜日	地名	時刻	交通機関	スケジュール	朝	昼	夕
1	6/15(土)	関西国際空港	23:45頃発	航空機	空路、ドバイ経由にてブラハへ 【機中 泊】	-	機内	-
2	6/16(日)	ブラハ空港 リベツ	13:00頃着 14:00頃発 16:00頃着	専用車	リベツへ（約120km/約2時間） ホテル着 【リベツ 泊】	機内	-	-
3	6/17(月)	リベツ	終日		The 47th Textile Research Symposium 2019参加 チェコ共和国リベツ工科大学(Technical University of Liberec) 【リベツ 泊】	-	-	-
4	6/18(火)	リベツ	終日		The 47th Textile Research Symposium 2019参加 チェコ共和国リベツ工科大学(Technical University of Liberec) 【リベツ 泊】	朝食	-	-
5	6/19(水)	リベツ	終日		The 47th Textile Research Symposium 2019参加 チェコ共和国リベツ工科大学(Technical University of Liberec) 【リベツ 泊】	はホテルにて	-	-
6	6/20(木)	リベツ ブラハ空港 ブラハ	早朝（06:00頃） 08:00頃着 08:00～15:00	専用車 専用車	ブラハへ（約120km/約2時間）、※朝食はBOXになります バルセロナ組離団 ブラハ市内観光(ガイド・昼食付) ブラハ城、旧市街、ブルタヴァ川クルーズ 【ブラハ 泊】	レストラン	-	-
7	6/21(金)	ブラハ ブラハ空港	午前 15:55頃発	公共交通機関 航空機	各自、空港へ 空路、ドバイ経由にて帰国の途へ 【機中 泊】	-	機内	-
8	6/22(土)	関西国際空港	17:50頃着		着後、解散	機内	-	-

**申込方法** 学会 HP より参加申込み用紙をダウンロード頂き、以下宛先までお申し込み下さい。

**申込み先** 旅行企画・実施 (株)ジェイワールドトラベル 担当：橋本賢次

〒541-0052 大阪市中央区安土町3-4-10 京阪神安土町ビル3F

TEL.06-6266-2229, FAX.06-6266-3447 (観光庁長官登録旅行業 第1359号)

E-mail: hashimoto@jw-trvl.co.jp

**問合せ先** 日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

ジェイワールドトラベル 担当：橋本 TEL.06-6266-2229, E-mail: hashimoto@jw-trvl.co.jp

# 第47回繊維工学研究討論会ツアー(2) チェコ+国際繊維機械見本市 ITMA2019 (バルセロナ) 視察

**旅行代金** 396,060 円 (税込)

※現旅行代金に含まれていないもの：シンポジウム参加登録費、地市税等、ITMA 入場券、日程表に含まれない食事代金等。

※利用航空会社：エミレーツ航空利用 (エコノミークラス) 予定

※諸般の事情で旅行代金に変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

**申込締切** 2018 年 12 月 20 日 (木)

**内容** 予定

日程	曜日	地名	時刻	交通機関	スケジュール	朝	昼	夕
1	6/15(土)	関西国際空港	23:45頃発	航空機	空路、ドバイ経由にてプラハへ 【機中 泊】	-	機内	-
2	6/16(日)	プラハ空港 リベツ	13:00頃着 14:00頃発 16:00頃着	専用車	リベツへ (約120km/約2時間) ホテル着 【リベツ 泊】	機内	-	-
3	6/17(月)	リベツ	終日		The 47th Textile Research Symposium 2019参加 チェコ共和国リベツ工科大学(Technical University of Liberec) 【リベツ 泊】	-	-	-
4	6/18(火)	リベツ	終日		The 47th Textile Research Symposium 2019参加 チェコ共和国リベツ工科大学(Technical University of Liberec) 【リベツ 泊】	-	-	-
5	6/19(水)	リベツ	終日		The 47th Textile Research Symposium 2019参加 チェコ共和国リベツ工科大学(Technical University of Liberec) 【リベツ 泊】	朝食は	-	-
6	6/20(木)	リベツ プラハ空港着 プラハ空港発 バルセロナ空港着	早朝 (06:00頃) 08:00頃着 11:25頃発 13:50頃着	専用車 航空機 公共交通機関	プラハへ(約120km/約2時間)、※朝食はBOXになります 空路、バルセロナへ 各自、ホテルへ 【バルセロナ 泊】	ホテルにて	-	-
7	6/21(金)	バルセロナ	終日	公共交通機関	ITMA2019(国際繊維機械見本市)見学 場所:Fira De Barcelona (市内スペイン広場付近) 【バルセロナ 泊】	-	-	-
8	6/22(土)	バルセロナ	終日	公共交通機関	ITMA2019(国際繊維機械見本市)見学 場所:Fira De Barcelona (市内スペイン広場付近) 【バルセロナ 泊】	-	-	-
9	6/23(日)	バルセロナ バルセロナ空港発	午前 15:30頃発	公共交通機関 航空機	各自、空港へ 空路、ドバイ経由にて帰国の途へ 【機中 泊】	-	機内	-
10	6/24(月)	関西国際空港	17:50頃着		着後、解散	機内	-	-

**申込方法** 学会 HP より参加申込み用紙をダウンロード頂き、以下宛先までお申し込み下さい。

**申込み先** 旅行企画・実施 (株)ジェイワールドトラベル 担当：橋本賢次

〒541-0052 大阪市中央区安土町 3-4-10 京阪神安土町ビル 3 F

TEL.06-6266-2229, FAX.06-6266-3447 (観光庁長官登録旅行業 第 1359 号)

E-mail : hashimoto@jw-trvl.co.jp

**問合せ先** 日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

ジェイワールドトラベル 担当：橋本 TEL. 06-6266-2229, E-mail : hashimoto@jw-trvl.co.jp

# J World Travel

TELNO:06-6266-2229

FAXNO:06-6266-3447

## 参加申込書 兼 旅行傷害保険加入お伺い書

お申込み日:平成 年 月 日

■ お申込みご本人が必ずご記入下さい。フリガナ欄はカタカナで必ずご記入下さい。ご提出頂いた書類はご返却致しません。

テクニカル・テキスタイル展ご視察		ご出発日	平成 年 月 日( )	
フリガナ		性別	生年月日	
参加者氏名		男・女	(19 年)	出生地
パスポート名 (旅券と同じローマ字)		婚姻	旧姓	国籍
フリガナ		未婚・既婚		
現住所	〒	TEL		
E-Mail		FAX		
ご所属		携帯		
所属部署名		英文名		
フリガナ		役職名	職業	
所属先住所	〒	TEL		
渡航中の 国内連絡先	フリガナ	続柄	FAX	
	氏名		TEL	
	住所	〒 現住所と同じ		
旅券の有無 (パスポート)	<input type="checkbox"/> 旅券を持っている <input type="checkbox"/> 旅券を持っていない <input type="checkbox"/> 現在申請中	旅券番号(パスポートNO)	発行及び有効年月日	
			発行日	年 月 日
			失効日	年 月 日
	* 申請中の方は、パスポート受領後、旅券番号(パスポートNO)、発行年月日をお知らせ下さい			
カード情報 (マイレージカード)	ご利用のマイレージカードがありましたら番号をお知らせ下さい			
	<input type="checkbox"/> 日本航空 <input type="checkbox"/> ユナイテッド航空			
	<input type="checkbox"/> 全日空 <input type="checkbox"/> その他			
お部屋タイプ	<input type="checkbox"/> 一人部屋を希望する (追加料金が必要な場合があります) <input type="checkbox"/> 2人部屋を希望する (同室希望者 )			
旅行傷害保険 加入について	☆☆必ずご記入下さい☆☆ <input type="checkbox"/> 旅行傷害保険に加入します (有料。保険プラン詳細を別紙にてご案内致します) <input type="checkbox"/> 旅行傷害保険に加入しません。( <input type="checkbox"/> 他社にて加入 / <input type="checkbox"/> その他 )			
* ご要望等ありましたらご記入下さい				

## 関東支部 繊維系研究機関ミニ国際シンポジウム2019 講演会・見学会のご案内

日本繊維機械学会・繊維学会の運営にご尽力され、繊維生産技術の発展に貢献されてきました鞠谷雄士先生をお迎えし、関係者とともに講演会・見学会を開催する運びとなりましたので、下記の通りご案内申し上げます。なお、本行事へは関東地域にこだわることなく、また、非学会員でもご参加いただけます。

**期 日** 2019年4月25日(木)、26日(金)

**会 場** 講演会：東京都立産業技術研究センター本部東京イノベーション・ハブ（東京都江東区青海2-4-10）  
ゆりかもめテレコムセンター駅下車、徒歩直ぐ、りんかい線東京テレポート駅より徒歩15分。送迎バス利用3分（ただし朝夕のみ）。

見学会：東京工業大学 大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山2-12-1）

### 内 容

4月25日(木) 第一部：講演会

13.00～13.40

講演 (1) 「3D プリンターでバイオリン、その設計と製作」

..... 東京都立産業技術研究センター 3D ものづくりセクター 横山幸雄

13.40～14.20

講演 (2) 「花王のシート製品を支える繊維・不織布技術」

..... 花王(株) 包装容器開発研究所 金田 学

14.20～15.10

ポスター発表／コーヒープレイク

15.10～15.50

講演 (3) 「Development of High-strength Polyester Fibers via Novel Control of Flow Behavior In Melt Spinning Process」

..... Technical Textile R&D Group, Korea Institute of Industrial Technology (KITECH) HAHM Wan-Gyu

15.50～16.50

講演 (4) 「高速紡糸による繊維形成とポリマー特性の関係」

..... 東京工業大学 物質理工学院材料系 鞠谷雄士

懇親会（講演会終了後、鞠谷先生を囲んで懇親会を開催します。参加費 6,000 円（予定））

4月26日(金) 第二部：見学会

見学先：東京工業大学 大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山2-12-1）

集合場所：博物館・百周年記念館 1F ロビー

13.00～14.30 博物館・百周年記念館

14.30～16.00 鞠谷研究室 紡糸設備の見学

**定 員** 講演会 100 名、見学会 20 名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

**参加費** 無料、懇親会有料 6,000 円（予定）

### 問合せ・参加申込先

可能な限り E-mail でお願いします。

群馬大学 理工学部 環境創生部門 河原 豊

〒376-8515 桐生市天神町1-5-1

TEL：0277-30-1491, FAX：0277-30-1412, kawahara@gunma-u.ac.jp

## 2019 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」公募

2019 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおむね 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を 2019 年 1 月 28 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付下さい。

**提出書類** 次の書類を 2 部（正 1 部、副 1 部、副は複写も可）提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙（所定の書式の用紙、学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい）
- (2) 応募業績に関する参考資料（参考資料例：特許、図面、新聞記事、納入実績リスト、カタログ、技術資料など）

**選考方法**

- (1) 一次選考（書類審査）により選抜された業績について、二次選考（現地調査）を行います。
- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

**その他** 応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

**応募締切** 2019 年 1 月 28 日(月) 17 時必着

**申込先ならびに問い合わせ先** 日本繊維機械学会 技術賞選考委員会  
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

**参考資料** 過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・ 2016 年度受賞技術

「高性能 CFRP ソールの成形技術」

..... (株)アシックス 谷口 憲彦  
..... 川重岐阜エンジニアリング(株) 日比野 茂  
..... (株)アシックス 松尾 弘毅, 西脇 剛史

「競泳水着における機能性設計開発」

..... (株)ミズノ 田中 啓之, 島名 孝次

・ 2017 年度受賞技術

「柔らかか面ファスナーの開発」

..... 帝人(株) 田中 昭  
..... 帝人フロンティア(株) 竹下 皇二  
..... 帝人(株) 田中 謙吾

「次世代コンパクト POY 巻取設備の開発」

..... TMT マシナリー(株) 杉山 研志, 北山 太, 橋本 欣三

・ 2018 年度受賞技術

「環境に優しい高耐久防汚加工技術」

..... 東レ(株) 竹下 将太, 柄澤 留美, 小森 晋也, 大塚重津希, 竹田 恵司

「自動ワインダーにおけるサーボ制御を用いた高速トラバース機構」

..... 村田機械(株) 梅原 嘉人, 谷川 保伸, 牟田 勝文, 竝川 哲也



# 創立 70 周年記念 若手研究者・技術者育成事業 日本繊維機械学会「学術研究奨励賞」募集要項

## 1. 趣旨

本学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的としたものです。

## 2. 応募資格

2018 年 12 月 31 日において 45 歳以下の研究者・技術者

## 3. 研究テーマ

繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究

## 4. 応募の方法

所定の研究計画書ファイルを学会 HP からダウンロードして作成し、日本繊維機械学会事務局宛に提出してください。

## 5. 応募の締め切り

2019 年 2 月 4 日(月) 必着

## 6. 選考結果の発表

2019 年 5 月中旬までに、申請書を元に審査のうえ贈賞者を決定し、本人に書状にて通知します。

## 7. 表彰

2019 年 5 月 31 日(金)【年次大会 2 日目】に、学会賞授与式を開催します。  
賞状ならびに副賞（奨学寄付金：1 件につき最大 50 万円）を授与します。

## 8. 研究成果の報告

所定期間内（原則三年以内）に報告書を提出し、日本繊維機械学会（以下本学会）年次大会で成果を発表すること。さらに、研究終了後所定の期間内（原則一年以内）に成果をまとめ、本学会の学術論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) に投稿すること。

なお、会社に帰属する研究成果の公表の可否と範囲については、受賞決定後に選考委員会と協議する。

## 9. 留意事項

- 1) 受賞時には本学会の会員であること。
- 2) 応募に際して本学会員の推薦を必要とする。
- 3) 企業の研究者が応募する場合は、あらかじめ所属する部局長の承諾を得ること。

## 2019 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

2019 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE (Journal of Textile Engineering, 本学会論文集) に掲載された Original Paper が「5 編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年の 12 月 31 日で、40 歳以下の者とします。応募される方は、下記の書類を添えて、2019 年 2 月 4 日(月) 必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部(様式は自由)

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
  - (2) JTE に掲載された論文一覧(著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁)
  - (3) 推薦書(自薦、他薦にかかわらず 400 字以内)

**申込先** 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会  
〒550-0004 大阪市西区鞆本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL : 06-6443-4691, FAX : 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

## 日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018 年 1 月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設しました。

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

### 一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 8 頁以内とする。

### 短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 4 頁以内とする。

### 技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 6 頁以内とする。

### レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 8 頁以内とする。

## 2019 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、2019 年 2 月 28 日(木)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

## 日本繊維機械学会フェロー規程

### 目 的

第 1 条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

### フェロー候補資格

第 2 条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴 10 年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

### 推薦方法

第 3 条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

### 推薦の時期

第 4 条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

### 選考方法

第 5 条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

### 認 定

第 6 条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

### 任 務

第 7 条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

### 登録費

第 8 条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

### 称号の喪失

第 9 条 次のいずれか 1 つに称号認定者が該当するとき、その称号を失う。

- (1) 本人から申し出があったとき。
- (2) 本会の会員資格を失ったとき。

### 附 則

1. 本規程の改廃は理事会の議決による。
2. 本規程は平成 20 年 3 月 15 日より実施する。
3. 本規程は平成 27 年 1 月 24 日より実施する。
4. 本規定は平成 30 年 11 月 10 日より実施する。

## 日本繊維機械学会フェロー内規

### 1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

### 2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名(理事)

副委員長 1名(理事)

委員 3名(委員長指名による会員)

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

### 3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

### 附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。

## 2019年度日本繊維機械学会賞「論文賞」 推薦委員募集

2019年度日本繊維機械学会賞「論文賞」の推薦委員募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

**申込** 応募される方は、①氏名、②所属、③所在地、④連絡先(電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、⑤専門分野を明記の上、2019年1月18日(金)までに、FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。

**申込先** 日本繊維機械学会論文賞選考委員会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

### 染色加工研究委員会

<b>委員長</b>	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
<b>運営委員</b>	伊藤 博 (イトービーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所)
	高橋 正志 (日阪製作所)	榎本 雅穂 (京都女子大学)	岡田 倫子 (滋賀県東部工業技術センター)
	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	越智 清一 (元繊維評価技術協議会)	改森 道信 (改森技術士事務所)
	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)	桑原 里実 (和洋女子大学)	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)
	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)	長澤 則夫 (元日本羊毛産業協会)	橋本 嘉顯 (東洋紡カンキョーテクノ)
	廣垣 和正 (福井大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)	森本 國宏 (森本技術士事務所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	吉川 雅敏 (繊維評価技術協議会)	

## お知らせ 日本繊維機械学会フェロー会 「せんい」を通じて社会貢献する Fellow Club of TMSJ

日本繊維機械学会では、2008年の創立60周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。日本繊維機械学会フェローとは、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著に貢献をした会員に与えられる称号です。2012年にフェローの集まりである日本繊維機械学会フェロー会が設立されました。社会貢献を目的として、日本繊維機械学会を側面からサポートしながら数々の活動を行っております。

### 日本繊維機械学会フェロー会の活動

#### 1. 小中学生テキスタイルセミナー

これからの日本を背負っていく子供達に、繊維のすばらしさを伝える目的で行っています。繊維のすばらしさを伝える伝道師として、フェローが「Mr. ファイバーマン」に扮して、赤色のブルゾンを身につけ、子供たちに繊維知識をより身近に感じてもらういろいろな工夫をして開催しています。

過去の開催内容は学会HPのフェロー会ページ (<http://tmsj.or.jp/fellow/report.html>) で閲覧できます。

#### 2. フェロー講演会（シリーズ「技術立国日本の先駆者」etc.）

技術立国日本の礎を作った先駆者として、フェローに成功と失敗談、光と影の部分を腹藏なく語っていただく講演会です。また、学会行事と連携して基礎講座も行います。

#### 3. 技術相談

フェロー会ではフェローによる技術ならびに諸々の相談を受け付けています。相談事項がございましたら学会HPのフェロー会ページ ([http://tmsj.or.jp/fellow/tech\\_advice.html](http://tmsj.or.jp/fellow/tech_advice.html)) の「フェロー会メンバー相談可能分野一覧」を参照いただき、相談内容と相談したいフェロー名（任意）を学会事務局までお知らせください。相談内容は関係者以外には秘密保持致します。内容によっては相談に応じられない場合があります。なお、内容によっては費用が発生する場合があります。

#### 4. 出前講義

小、中、高等学校から一般の方々、企業を対象に繊維に関する出前講義を行います。出前講義を希望されます団体は相談に応じますので学会事務局までご一報ください。

### 問合せ先 日本繊維機械学会フェロー会

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL 06-6443-4691, FAX 06-6443-4694

E-mail : [info@tmsj.or.jp](mailto:info@tmsj.or.jp)



## 共催行事 シンガポール国立大学 Seeram Ramakrishna 教授講演会

**期 日** 2019年1月28日(月) 14.30~17.40

**会 場** 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス3号館0322講義室(京都市左京区松ヶ崎橋上1)

**内 容**

14.30~16.00

(1) Nanofibers and Nanotechnology

The Director of Center for Nanofibres and Nanotechnology at the National University of Singapore

..... Prof. Seeram Ramakrishna

16.10~17.40

(2) Circular Materials

The Director of Center for Nanofibres and Nanotechnology at the National University of Singapore

..... Prof. Seeram Ramakrishna

**主 催** 京都工芸繊維大学繊維科学センター

**共 催** 日本繊維機械学会ナノファイバー研究会, 繊維学会ナノファイバー技術戦略研究委員会

**参加費** 無料(事前申込不要・当日直接会場にお越しください)

**問合せ先** 京都工芸繊維大学 繊維学系 石井 佑弥

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1

E-mail: yishii@kit.ac.jp, TEL: 075-724-7883

## お知らせ FMC2月度セミナー

FMC(ファッション素材センター)の2月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ ([http://www.geocities.jp/fmc\\_webpage/](http://www.geocities.jp/fmc_webpage/)) をご参照下さい。

**期 日** 2019年2月1日(金) 18.15~20.00

**会 場** 大阪産業創造館5F研修室AB(大阪市中央区本町1-4-5)

**内 容** 不織布の開発裏話とファッション素材への応用例

最近、不織布は多くの分野で使用されていますが、その中のスパンボンド不織布につき、その素材、製法、用途等の説明に加え、40年あまり前の開発で偶然見つけた現象によって品質が抜本的に改善され、その後の事業拡大に繋げることができた「開発裏話」について、その秘話をご紹介しますと思います。更に、ファッション関係への応用例としての「スラリットヤーン」について、併せてご説明致します。

**講 師** 元旭化成不織布技術開発部長 芝崎昭夫

**参加費** ビジター会員2,000円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年12回のセミナー(10月は見学会)に無料で参加できます。年会費12,000円でどなたでも会員になれます。]

**申 込** 「FMC2月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話またはFAX番号をご記入の上、1月25日(金)までにE-mailにてお申し込み下さい。

**申込先** 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC事務局

E-mail: fmc.office.mail@gmail.com

# (一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

## (目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

## (定 義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。  
「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

## (年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
  - ①本会の正会員としての在籍年数
  - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
  - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

## (最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

## (減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

## (改 廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

## (附 則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

### 情報化委員会

委員 長	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)			
委 員	中西 康雅 (三重大学)	保田 和則 (愛媛大学)	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)	
	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)	若子 倫菜 (金沢大学)		

## 【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

## 【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

## 【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

塾長	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）	
副塾長	近藤 健一（㈱おふいすけんいち代表取締役社長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル㈱代表取締役社長）
	八代 芳明（東海染工㈱取締役会長）	山下 雅生（㈱エイガールズ取締役会長）
幹事	松下 義弘（京都工芸繊維大学 非常勤講師）	
運営委員	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）	宇治 光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）
	臼谷旗世彦（大津毛織㈱代表取締役）	貝原 良治（カイハラ㈱代表取締役会長）
	北丸 豊（豊栄繊維㈱代表取締役社長）	桑名 紀夫（日本パーソナルカラー協会 顧問）
	高澤 史納（高澤織物㈱テキスタイルデザイナー）	高杉 哲朗（㈱ショーワ代表取締役社長）
	辰巳 雅美（辰巳織布㈱代表取締役社長）	山本 敏明（西染工㈱代表取締役）
	米倉 勝久（㈱タカラ代表取締役会長）	渡邊 利雄（渡辺パイル織物㈱代表取締役社長）

一般社団法人日本繊維機械学会 正会員 会費減免申請書

		申請日	年 月 日
(フリガナ) 会員氏名		生年月日	年 月 日
勤務先所在地	〒		
勤務先名称			
役職および 所属部課名			
電話			
E-mail			
自宅住所	〒		
連絡事項			
減免種別 (○印でかこむ)	ゴールド割引 ・ シルバー割引 ・ ブロンズ割引		
承認期日 (事務局記入)	年 月 日 印		